



平和新聞 東京版

2024年1月25日 東京版第132号

1950年12月16日 第三種郵便物認可 (日本平和委員会)

東京版発行 東京平和委員会

〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階

電話03-5927-1485 Fax03-5927-1487

E-mail tokyoheiwaikai@peace-21.jp

2024年を平和憲法の輝く年にしよう 代表理事 新春のごあいさつ

《今年はどうな年になることやら》

井出由美子

私は、昨年一年間、本場に忙しい毎日をごさししました。自衛隊オスプレイが木更津から立川に飛んでくるという情報のたびに、立川自衛隊駐屯地前での抗議集会を呼びかけ、自衛隊や防衛省要請にも何度も参加しました。

横田基地からの有機フッ素化合物「PFAS」汚染が大きな問題となつて、「多摩地域のPFAS汚染を明らかにする会」の立ち上げとともに、市ごとに実行委員会も作られ、血液検査の実施や水質検査を行い、高濃度汚染が次々と明らかになり、各市で運動が進んでいます。

さらに11月末、横田基地所属CV22オスプレイの死者8名を出す墜落事故に、基地の周辺に住む私たちは背筋が寒くなるような日々を過ごしています。

一年を通して、次々と押し寄せる課題に休む暇もない毎日、この忙しさも米軍基地と安保がすべての元凶

知事選で勝利し、日米安保・軍事拡大NO!の声を広げていくいいチャンスだと思っています。今年も共に頑張りましょう。



陸自オスプレイ飛来抗議行動
左端・井出さん

《国民民主権と自治を国民の手に取り戻す年に》

荻野孝一

ロシアのウクライナ侵略から2年が経ち、新たにイスラエルとハマスの戦闘が起き、21世紀が新たな戦況の世紀になりそうな状況になりつつあるような気がします。

国内を見ても、一昨年12月の岸田政権による安保三文書によって日本の平和が脅かされる状況が大きく膨れ上がってきました。全国の基地を見ても強化

強硬化されてきています。国民の声を完全に無視し、また保守層をも裏切り「戦争する国づくり」に奔走する岸田政権の姿があらわになってきた年でした。

「今だけ、金だけ、自分だけ」政治家だけでなく、国民一人一人もそれなりに毒されているのではないかと思えます。2024年は、正念場の年です。国民の支持を失った岸田政権を倒し、国民民主権と自治を国民の手に取り戻す年にしましょう!

4月には目黒区の区長選、6月沖縄県議選、7月東京都知事選などが予定されています。

24年は、東京平和委員会の会員、平和新聞の購読者を増やし、たたかいの先頭に立つとともに頑張ってくださいましょう!

(沖縄・高江にて 左・伊佐さん、右・荻野さん)



設計変更申請の代執行を糾弾 ゲート前集会千人がこぞし

オール沖縄会議は1月12日朝、キャンプ・シュワブのゲート前で「代執行埋め立てを許さない県民集会」を開きました。集会には沖縄県選出の衆参国會議員をはじめ各地域の島ぐるみ会議、オール沖縄会議の構成団体代表が参加し、政府に対する怒りと攻撃に屈しない決意を熱く表明しました。

集会には玉城デニー知事からもメッセージが寄せられました。(以下抜粋)

私はこれまで、辺野古新基地建設問題を含む基地問題について、一度たりとも、林官房長官とも、木原防衛大臣とも面会する機会をいただいております。沖縄県がこれまで再三求めてきた真摯な対話に応じることなく、一方的な文書の送付が重ねられるばかりで、知事の権限を奪う代執行に至り、さらに、工事の着手が今日強行されたことは、「丁寧な説明」とは到底真逆の、極めて乱暴で粗雑な対応がなされたものと、申し上げざるを得ません。

(以下略)
沖縄では、新基地建設反

対を標榜している公明党から入閣した齋藤国交大臣が史上初の代執行をおこなったことを強く批判。政権交代で辺野古新基地建設を必ず食い止めようと呼びかけました。(沖縄統一連ニュースより)



能登半島地震 石川平和委員会からの訴え

石川県平和委員会事務局長 柴原和美

1月1日午後4時過ぎに石川県の能登地域を中心に大きな地震が発生しました。現地の状況とご支援要請のメッセージを送ります。

私は能登町の実家に帰省中に地震にいました。避難所に水を取りにいきましたが少なく足りていません。志賀町で議員を務める会員は、遠くの避難所まで行け

ない住民のために町内集会所を避難所として開設。住民が集会所に身を寄せていますが、食料が届かなくて苦労しているとのこと。また、火災や家屋倒壊で甚大な被害が出ている輪島市の会員は、介護が必要な両親とともに輪島市内の避難所に避難。火災があった朝市通りの川の対岸にある自宅は大丈夫でしたが、避難所の周りでも多くの家屋が倒壊しているとのこと。

今のところ会員の生命にかかわる被害や家屋の倒壊等の報告はありません。道路の寸断や頻繁な余震とともに、救難・救助活動を妨げない観点から、現地に向かうことを控えています。食料や水、燃料など届いた気が持ちづらいです。もう少しすれば、道路事情も改善され、支援活動ができると思います。また、現地へ行かなくてもできる活動として、「救援募金」へのご協力をぜひお願いいたします。

郵便振替 口座番号：00780
5-19255 加入者名：石川県平和委員会

※通信欄に「能登半島地震救援募金」と必ず記入してください。

杉並平和委員会年次総会

1月13日、杉並平和委員会年次総会が開かれました。沖縄訪問や沖縄デー企画（映画会等）に取り組み、さらに杉並の戦跡などを訪ねるピースウォーク、そしてピースフォーラム（戦争展等）を毎年の恒例の取り組みとしてしています。

今年にはビキニ事件から70年。杉並区から国民的な署名活動が始まって70周年でもあります。それを思い起こし、運動のはずみにしようとも討議。古からの会員さんからは、「署名について話し合ったのは、当時の杉並平和懇談会II平和委員会なので」と、杉並平和委員会の歴史的役割にもふれながら、みんないろいろなアイデアを出し合い、他団体とも意見交換をして、署名行動が始まった4月に記念の取り組みをすすめる方向で準備していくこととなりました。

催し物案内

◎えどがわ平和委員会

定例学習会

2015年の安保法制以降「戦争する国づくり」が

急ピッチで進められています。戦争をするには法的基盤、軍備強化、兵員の確保の3要素が必要と言われています。現在、それらがどの程度進んでいるのか、そして今後の計画など岸本さんの報告をもとにみなさんで考えたいと思います。ぜひご参加ください。

戦争する国づくりストップ！どこまですすんでいるのか戦争への道ー講師 岸本正人・東京平和委員会事務局長

◇日時・2月8日(木)18:30
◇会場・グリーンパレス集会室403(江戸川区松島1-38-1)
◇資料代・500円
◇連絡先 大谷貴志090-7837-5267

◎第57回「建国記念の日」を考えるつどい

2月11日は単なる「祝日」ではありません。制定の経過を学びこの日の意味を糾弾しましょう。

岸田政権は、一昨年強行された「安保3文書」に基づく大軍拡路線を推進しています。軍拡財源確保法案を掲げ、軍事費を11兆円規模へ倍増させようとしています。自民党は、「防衛力

を総合的に考える有識者会議」を発足させ、着実に改憲発議に向けた策動を強めています。

こうした動向に、私たちはどう対処すべきでしょうか。私たちは「建国記念の日」(紀元節)施行以来、四半世紀にわたりこの日の制定のねらいを問い続けてきました。今回はこうした状況を踏まえ、岸田政権のこれからのねらいを解き明かし、今後の運動の在り方の指針を見定めるべく、気鋭の弁護士をお迎えしました。

平和を願い、関心を寄せる広範な方々のご参加をお待ちしております

◇講演・岸田政権はどのように改憲を進めようとするのか
◇講師・白神優理子弁護士
◇日時・2月12日(月)13:30~16:30
◇会場・亀戸文化センター(カメリアプラザ6階)
(亀戸駅下車・徒歩2分)
◇資料代・500円
◇主催・「建国記念の日」を考えるつどい・実行委員会

◇問合せ先・川田(090)8082-9598/長谷川(090)9141-1400
◇後援・文京連絡会、東京平和委員会

響子の旅日記

15歳の春『大阪』編

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします！

2024年最初の旅日記は『大阪』です。

15歳の春、某青年組織の全国高校生集会在大阪で開催され、そこに参加したのがきっかけです。

私は中学生ほとんど東京より西側に行ったことがなく、もう大阪なんて憧れの地、どんなキラキラした場所なのだろうとワクワクしていました。その時は集会在大阪だったので、あまがメインだったので、あまり観光はできませんでしたが、そこは私！絶対近いうちに一人旅に来て堪能してやるぞ！と心に決め、その後すぐにまた大阪へ。道頓堀、難波、梅田、心斎橋：どこに行っても賑やかで活気だらけ！人懐っこい大阪弁が耳に心地よく食べ物がまあどれも美味しい！しかも当時は物価もそんなに高くない高橋の一人旅には最高の場所でした。それから今まで5~6回はおじゃましているとします。ユニバーサルスタジオ、大阪万

博公園の太陽の塔もよかったです。

最後に大阪城を…。戦国時代最後の戦、大坂の夏の陣で落城し、その後再建された城…。戦乱の痕跡はあまりなかったように感じましたが歴史を知ることではり考えさせられます。昨年の大河ドラマ『どうする家康』でも、とても多く大坂の陣が描かれていました。通天閣に登り大阪市内を一望したあと、麓の新世界へ。名物のビリケンさんや地元神社などを参拝し帰路に着こうとしたところ、盛り上がりつつある飲み屋さんから一声が。『お姉ちゃん、どっから来たん？一緒に野球観いひんか？』大人数の阪神タイガースのユニホームを着た気さくなお兄さんたちが！いつの間にか私は阪神グッズを身につけて応援していました。

結びに：2023年は戦争があり日本の軍事化も深刻だと全国特に九州沖縄(南西諸島)の実態を目の当たりにする年になりました。2024年は戦なき世を作るため心新たに声をあげ行動していく年にしたいと思います。皆さまにとっても健康で平和な年になりますように！